

10月8日の
世話人会で

家族の反対も解けて

が、自分が何を求めているのかも
分らない不安定な気持ちからでし

お参を六日にしておきま
して、御膳の御玉膳と献合使
わされてはなすかたが、いふ
あるわけなきに、本當に自負
御傳の方の二つに續かない思
つておます。

裏腹の事もあるとすべし
初めの間は、近所の人達にも家
者にも「起るへ行きよ」とさ
よくいわれたが、二・三年の
間に近所のは頼もいわれなくな
いともめがないでした。心の
中で私も早く死ぬか金御膳さ
せてくだきたいといつもおもひ
ていました。御玉膳といかり
のものだとはばかりでしたが、予
供の通事事故の轉機、東家の空
調事務、予供の身分のけりす
の御成婚、予供の家、別荘湖の
御守衛、多量の御守衛をいたさ
しまして、その起居が人態お
ろこかいわれはならぬを嫌
うなり、いつおろこ、月が家

教へて拜してゐたんだ。時
 分は洋調で言へば御神會を主
 せいたかきです。執照を有
 するところ。そして御神會の言
 葉は祈りの私情が空しく、考
 え慮力や身を下すまい。た
 り、居られぬだろ、ま、何
 かいられないやうか、思ひ
 ださぬ。たか、反逆した
 り、罰せられてゐると思つて
 しまふ。なつて非難する自分

もつとより多く神様のことを知ら
 ていたけれど、おぼろげなことは分
 れません。今までの私は、道を歩
 びながら、よくよくして暗い日々を過
 していった前の方が多かったのに、
 黒い闇から救われて、光の光にたどり
 着いたことを喜び、感謝していま
 す。そして少しでも神様のこの大
 恩恵に報いることのできるように、
 心を用いて歩きたいなと、思

[illegible][illegible]

語であるにたり初めてか
 阿にたり、いいおな、月が
 下りまゝ、母はが判事へ三千
 分圓、明金を手に東京のセシ
 ンガを出たと言ふことで、翌
 日又寄せていふといふ時病に
 一週間使、息を引きてた女の
 子煩等二人養ひないまし
 た。叔親娘上、繰り返し病を
 立てていたなまゝした。闇で神
 様の御用をたほしとい、何處も
 何處頼みな候です。現でい
 う供は、たさんの御光いた
 して、おきな、きな、きな
 浪かちと扱ふなと、どう
 言ふたになつていた矢張朝
 暮す。五月九日午の朝、
 彌生と娘の御化の方の信
 ん多じられ、もう行かなても
 よからと言つておられたの
 です。その日は闇夜へおけり
 りあふ御坐すともおけり出
 かけした、いつもかき防の
 かに、その日は私待つてい
 う状態に、女、幼稚服の供が
 二、三箇の間、おきな、き

ふたになて非難しする自分
びへら仰天せざる次第です。
さて二年間當り最良なり、佳勝
したるを通じ、今自分から、西
しを預けしを、今一人、人々
にばかり長い間思ひて持ちまて、
あなたが優り多い一言づきま
す。この優りを取りていたた
めに、御用に徹して行きたいと
いふ。

都知事と言ふ名前も四、五
てやと無知な大ものになつ

て餘は皆誤かをいふこと
また。それは世間人はい
つも起りてを、いふま
す。それに出る人を出野は
いたけるよになりまして、
長男の長女の子供が自分
達よりできるとになりまし
た。私たちがもし今ある
おかげで、今になりまし
た。御用に徹する方々御用
ばかりいたたき、それが
おまけにいたたき、子供
さの御浄化の誤されて、い

「用に使ひたまたま」と思つておます。家裏の父も母もといつて御座なかつたので、反に對せなければ何もできなかつたかも知れないと思つたになつておます。どんなことに朝神屋があるこそ、会長先生がよくお聞きといふ。御神所の一冊一冊を伴作様に拝読していただくと、何より多くのことを教けていただけるように思ふはつて行きたいと思ひます。副主席ありがとうございました。

[illegible][illegible]

御神体御奉斎も同時

丸山 茂子

[illegible][illegible]

そこひに救い
西村 弘子
8人の方をお導き

西村 弘子

初は日蓮の月輪經と經題とを
ることに二生轉命でた。そ
るが、私のいたならな、い
るいは精神的な悩みがまし
て、それ解決してゐたたい
てという気になら、御神佛を拜読さ
せてゐる位なり、距離がある
と周知布衣色々と教へた。た
ました。そして、今年ぐら
いたたな宗教の知識や書
てゐるが、何れ自分自身づか
たい。母を孝順した。母で一生
畢までいた。そして、何と神佛
の御用をさせていたかなければ
い、させていた書きた、という氣
持が強いなり、周知布衣相續い
たしました。「とも周知一二御神
佛を拜読して下さい」といわれた。

以下4面へ続く

